

夏の急な天候変化への対策アドバイス



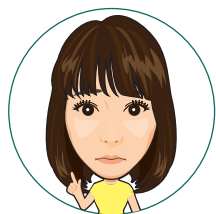
お久しぶりです！ミズキです！毎日暑い日が続いていますが、体調等は崩されていませんか？夏到来で、レジャー等の予定を立てている方も多いのではないのでしょうか？私は毎年音楽フェスに行くのが夏の楽しみなのですが、皆さんはどこに行く予定ですか？海も山も湖とか川も楽しいですね！花火大会とかもありますし、平塚名物の七夕祭りも、今年は七夕とばっちり被りましたしね☆楽しいことがいっぱいですね^^！

楽しみなのはいいんだけど、目的地への行き帰りのこともちゃんと考えてるよね？



そうだ。車でお出かけ予定だから、渋滞もするだろうし、急な天候の変化などなど、ちゃんと前もって考えて、対策を立てておかないとね！

うん！特に夏は急なゲリラ豪雨なども発生しやすいから注意が必要な季節なんだよ！



そういえば2年程前に旦那さんの運転中、私は助手席でゲリラ豪雨にあって、冠水してるところに突っ込んだ経験あります。しかも10分後には水が引いて、レッカーさんなんでこんなところで？って感じだったなあ。（苦笑）エンジンに水が入って、車は廃車に。こんな苦——い思い出があります。

そういうことにもなりかねないからね！見通しも悪くなるから無理に運転したら加害者になっちゃうことも考えられるし。今回はゲリラ豪雨のことについてまとめてみようか。



同じ思いはしてほしくないなので、今回は夏の急な天候変化の代表としてゲリラ急な豪雨への対応をまとめました！裏面へ続きます。

夏の急な天候変化“ゲリラ豪雨”を知る

Q 急なゲリラ豪雨はなぜ起こる？どんな現象？

A 近年頻発しているゲリラ豪雨。予兆などが少なく避けるのが難しい災害です。これは湿度が高いときに低気圧が滞留して起こる現象です。急上昇気流によって雲が発生してゲリラ豪雨が起きます。

例えば梅雨の時期近くなど、生暖かい気持ち悪い気候のときはそのような現象がおきやすいといえるでしょう。しかも特徴として熱い空気が滞留しやすい場所で局地的に起こるという点があります。空気が滞留しやすいのはビルの谷間や盆地などです。逆に開けた平野などではおきにくい現象です。とくに都市部ではゲリラ豪雨が起きやすい要因として挙げられるのがヒートアイランド現象です。自動車やエアコンの室外機などの排熱がたまる都市部は異常なほどの暑さになります。ヒートアイランド現象で生まれた熱は上昇し、爆発的な嵐を引き起こします。ひどいときには冠水や洪水、土砂崩れなど甚大な被害を及ぼす現象です。

Q ゲリラ豪雨に合った時どうしたらいい？対策はある？

A 先程も言った通り、予測するのが難しく突発的に起こるのが“ゲリラ豪雨”です。行楽先や高速道路、山道などを走行中、思わぬ豪雨に見舞われてしまうといったことがあるかもしれません。

急な大雨に見舞われた際は、前方車両との車間距離を十分に空ける、走行スピードを意図的に落とすなどの安全運転を徹底するようにしましょう。また、ゲリラ豪雨はバケツをひっくり返したかのように一気に降ってすぐに止むのも特徴です。雨の勢いが激しい場合は、無理をせず、安全な場所に車を停車し、雨の勢いが弱まるのを待つことも賢明な判断と言えます。



私は帰路でゲリラ豪雨に合ってしまったんですが「ここ冠水してそうだから気をつけて！」というところがカラッとしていて、なーんだ全然平気だったねとその先全然注意していなかったところが冠水していて、早朝で暗かったのもあり気付かず突っ込んでしまいました。そのポイントはなだらかな上り下りの合流地点で車で、いつも走っている時も坂ということを意識したことがなかった道なので、まさかこんなところが冠水するとは思いませんでした。役所が出している水害マップで冠水しやすい所が記されていますので、よく使う道が大丈夫か調べてみてはいかがでしょうか。意外なところが冠水注意になっていて驚きますよ！どこで遭遇するか分からないゲリラ豪雨。ゲリラ豪雨に合ったら、その時に合った適切な対応で安全に回避してくださいね！！

和田保険事務所では、自動車、火災、傷害保険に限らず、生命保険や医療保険、年金や旅行保険等、様々な保険を取り扱っています！資格を持ったスタッフが、様々なリスクを想定し、あなたに合った保険をご提案させていただきますので、わからないことがあればお気軽にご相談ください。いつでもご説明に伺います！ご親族様やご友人のご紹介等ございましたら、和田保険事務所までご連絡をお願い致します。